

平成21年4月17日

重要文化財（建造物）の指定について

文化審議会（会長 西原 ^{すずこ} 鈴子）は、平成21年4月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに8件の建造物（新規7件、追加1件）を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財（建造物）は、2,351件、4,304棟（うち国宝214件、262棟を含む。）となる予定

◎今回の答申における特筆すべきもの

^{たかしまやとうきょうてん}
高島屋東京店

東京都中央区

高島屋東京店は、高橋 ^{ていたろう} 貞太郎による当初設計部分と、戦後の村野 ^{むらのとうご} 藤吾による増築部分からなる。全体が優れた意匠でまとめられたわが国の百貨店建築を代表するものの一つである。百貨店建築としては、初めての重要文化財指定である。

^{しらいわえんていさぼう}
白岩堰堤砂防施設

富山県富山市・立山町

白岩堰堤砂防施設は、わが国有数の急流 ^{こうはい} 荒廃河川である常願寺川 ^{じょうがんに} の上流、立山カルデラ内に築かれた、近代を代表する砂防施設の一つで、今なお国土保全施設として機能している。砂防施設としては、初めての重要文化財指定である。

<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）

参事官 大和 智（内線 2790）

調査部門 坊城，武内，北河（内線 2793）

担当係長 宮本（内線 3160）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-2792（直通）

【新規指定の部】

① わが国を代表する百貨店建築の一つ（近代／商業・業務）

たかしまやとうきょうてん
高島屋東京店 1棟

東京都中央区

株式会社高島屋

高島屋東京店は、日本橋から銀座へ向かう中央通りに西面する街区に建つ。

鉄骨鉄筋コンクリート造，地上8階建，地下3階建で，塔屋を設け，間口約65m，奥行約115mの規模を有する。

高島屋東京店は，中央通りに面する部分（現在の街区の西方約三分の一）が，高橋貞太郎による建築図案競技一等の実施案に基づき建設され，昭和8年に竣工した。戦後，村野藤吾の設計になる増築によって，一街区全体を占める現在の建物が完成した。

高島屋東京店は，西欧の歴史様式に日本的な要素を加味した高橋による当初部分と，近代建築の手法を駆使した村野の設計による増築部分からなるが，全体が一体不可分の建築作品として完成度が高く，わが国の百貨店建築を代表するものの一つとして重要である。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



② わが国を代表する近代砂防施設の一つ（近代／産業・交通・土木）

さっぽう
白岩堰堤砂防施設 4所

ほんえんてい ふくえんてい とこがため ほうかくわく
本堰堤，副堰堤，床固，方格枠

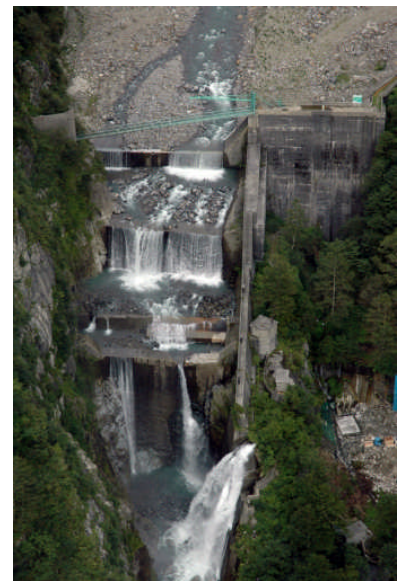
富山県富山市・立山町

国（国土交通省）

白岩堰堤砂防施設は常願寺川流域における土砂災害を未然に防ぐため，常願寺川水源崩壊地における山腹及び河床の安定化を目的として築かれた砂防施設である。

工事は内務省直轄で行われ，内務技師赤木正雄あかぎまさおの計画に基づき建設され，昭和4年10年に着工，14年12月に竣工した。

白岩堰堤砂防施設は，わが国有数の急流荒廃河川である常願寺川の基幹砂防施設の一つとして建設され，今なお富山平野を土砂災害から守り続ける国土保全施設として歴史的に価値が高い。



また，大型機械を駆使した大規模構造物群からなる複合的砂防施設であり，近代砂防施設の一つの技術的到達点を示すものとして重要である。

○指定基準＝技術的に優秀なもの，歴史的価値の高いもの

③ 廻船業で栄えた加賀橋立集落における上質な船主住宅（近世以前／民家）

忠谷家住宅 4棟

おもや しんざしき せどぐら しんぐら
主屋、新座敷、背戸蔵、新蔵

石川県加賀市

忠谷久五郎

忠谷家住宅は、加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区に所在する北前船の船主の住宅で、天保年間（1830～1843）に建てられたとみられる主屋の周囲に、新座敷や土蔵が建つ。

忠谷家住宅の主屋は、橋立集落における住居形態の展開を知る上で重要な住宅である。

また新座敷などの附属屋も良好に保存されており、船主住宅の屋敷構えをよく伝える点においても、価値が高い。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの



④ 二宮尊徳による報徳思想の拠点となる大規模な集会施設（近代／文化施設）

旧遠江国報徳社公会堂（大日本報徳社大講堂） 1棟

静岡県掛川市

社団法人大日本報徳社

旧遠江国報徳社公会堂は、掛川城の北東に、二宮尊徳の教えを体系化した報徳思想を普及・啓蒙する中心拠点として建設された。

明治35年7月に着工し、同年10月10日上棟、翌36年4月5日に竣工した。

公会堂は、正門の奥に東面して建ち、桁行20m、梁間15.8m、木造2階建、入母屋造、棧瓦葺で、伝統的な木造建築の形式・技法によりながら、1階が和風、2階が洋風の特徴ある外観をもつ。内部は81畳敷で吹抜の大広間を中心に、正面には演壇、2階三方には吊り構造の棧敷を設けている。

わが国近代における大規模で特徴ある形式をもつ和風集会施設として重要である。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの



⑤ 山中に宏壮な伽藍を構える天台宗寺院（近世以前／寺院建築）

ずいがんじ
随願寺 5棟
ほんどう かいざんどう きょうどう しょうろう からもん
本堂、開山堂、経堂、鐘楼、唐門

兵庫県姫路市

随願寺

随願寺は奈良時代の創建と伝える天台宗寺院で、
けいあん 2年(1649)頃に姫路藩主榊原家の菩提寺となつた。
ほんどう は元禄5年(1692)に建てられた大型仏堂で、
境内に建つ開山堂なども江戸時代に整備された。

随願寺本堂は、全体が装飾的で力感ある意匠によってまとめられており、江戸時代中期の大型仏堂として貴重である。

また開山堂などの諸堂宇は、いずれも意匠に優れ、本堂とともに宏壮な山中伽藍を形成しており、高い価値がある。

指定基準＝意匠的に優秀なもの



⑥ 構造物が一連で残る初期の森林鉄道施設（近代／産業・交通・土木）

やなせ
旧魚梁瀬森林鉄道施設 9基5所

エヤ隧道、バンダ島隧道、オオムカエ隧道、
かまがたにさんどう
明神口橋、釜ヶ谷棧道、釜ヶ谷橋、平瀬隧道、
こうぐち いぬぼろ
河口隧道、落合橋、犬吠橋、井ノ谷橋、小島橋、
ほりがを
二股橋、堀ヶ生橋

高知県安芸郡奈半利町、田野町、安田町、馬路村、北川村

高知県、奈半利町、田野町、安田町、馬路村、北川村、八幡宮



魚梁瀬森林鉄道は、高知県東部の魚梁瀬地区からの伐採木搬出のため、明治44年から昭和17年にかけて農商務省の直轄事業により建設された森林鉄道施設である。

わが国最初期の森林鉄道施設の一つであり、通常の鉄道構造物とは異なる構法や規模で建設された橋梁や隧道が、旧態を良好に保持しながらまとまって残り、林業技術史上、貴重である。

また、二股橋と堀ヶ生橋はそれぞれ無筋コンクリート造及び充腹式鉄筋コンクリート造橋梁として、近代における最大級の径間を実現した構造物であり、コンクリート技術史上、高い価値がある。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

⑦ 沖縄の伝統木造建築からなる泡盛醸造所施設（近代／産業・交通・土木）

つかやましゅぞうしよ
津嘉山酒造所施設 2棟

おもや こうじや
主屋、麴屋

なご
沖縄県名護市

合資会社津嘉山酒造所

津嘉山酒造所施設は、名護市街に所在する現役の泡盛醸造所施設である。主屋と麴屋はしまぶくろじゅんいち島袋純一の設計により昭和3年頃に建てられ、この頃から泡盛の生産を始めたとみられる。

主屋は、泡盛醸造のための施設と居住部分を一体とした形式で、麴屋とともに昭和初期の酒造施設の形態を良くとどめており、貴重である。

また主屋居住部は、沖縄地方の伝統的な住宅平面を受け継ぎながら、近代的な展開も示しており、沖縄の近代住宅を理解する上で重要である。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの



【追加指定の部】

① 中山道塩尻宿の屋敷の構えを伝える隠居屋と宅地（近世以前／民家）

おのけ
小野家住宅 1棟、土地

いんきよや
隠居屋、宅地

ながのしほ
長野県塩尻市

小野良文

小野家は中山道塩尻宿で旅籠を営んでいた家で、主屋と文庫が昭和48年に重要文化財に指定されている。主屋の後方に建つ隠居屋は天保15年(1844)の建築とみられる。



小野家住宅の隠居屋は、主屋と同時期に建築され、一体となって屋敷後方の空間を形成しており、塩尻宿の屋敷構えを理解する上で重要である。

また宅地形状が近世の地割をよくとどめており、中門や石垣などの工作物も良く保存されている点においても価値が高い。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの

〈個別解説凡例〉

番号 特 徴 (年代区分／種類別)

名 称 員 数

複数棟指定の場合の建造物の名称, 土地* 等 (*建造物と一体をなして価値を形成している
土地をあわせて指定するもの。)

所 在 地

所 有 者